

社団法人 東京都理学療法士会 南多摩・西多摩ブロック 主催  
第2回 リハビリスタッフ 症例検討会のお知らせ

日時:平成23年11月3日(木・祝) 12:00 ~ 16:30

会場:多摩リハビリテーション学院(JR 青梅線「東青梅駅」下車 徒歩10分)

〒198-0004 東京都青梅市根ヶ布 1-642-1

<http://www.tama-riha.ac.jp/>

参加資格:特になし。

理学療法士に限らず、他職種の方、一般の方、どなたでもご参加いただけます。

参加費:無料。事前の申し込みも必要ありません。

概要:リハビリスタッフの技術向上、交流を目的に、理学療法士だけでなく、リハビリテーションに従事する全てのスタッフより広く演題を募集し、演題発表会を開催する。

プログラム(予定):

11:00参加受付・発表者受付開始

ポスター閲覧開始

11:50開会式

12:00-12:45 新人セラピスト教育講座 「Plasticity 入門」

多摩丘陵病院 理学療法士 中澤幹夫

13:00-14:15 一般演題発表 Section 1

ポスター発表 7分発表 5分質疑

14:30-14:45 一般演題発表 Section 2

ポスター発表 7分発表 5分質疑

共催:東京都作業療法士会

後援:東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター

東京都西多摩地域リハビリテーション支援センター

事務局

〒194-0297 東京都町田市下小山田町 1491 多摩丘陵病院 理学療法科(中澤、永見)

TEL:042-797-1513(直通) FAX:042-797-0596 E-mail:[reha-pt@tamakyuryo.or.jp](mailto:reha-pt@tamakyuryo.or.jp)

## 参加者へのお願い

駐車場:参加者用の駐車場はございません。ご参加の際には、公共交通機関のご利用をお願い致します。

託児所:期間中の託児室の設置は致しません。

ゴミ:持ち込んだゴミは各自での持ち帰りをお願い致します。

撮 影:会場内でのカメラ・ビデオ撮影(カメラ付き携帯電話を含む)・録音などは、一切、禁止させて頂きます。

## 理学療法士の皆さんへ

本症例検討会は東京都理学療法士会新人教育プログラムの一環として行われ、都士会員で新人教育プログラム1年次および2年次該当の参加者は「症例検討Ⅰ・Ⅱ」、3年次該当の参加者はトピックスⅢに読み替えます。加えて、都士会員の発表者は該当年次にかかわらず「症例検討Ⅲ」へ読み替えます。なお、他理学療法士会員の方へも「受講証明書」を発行しますが、単位読み替えについては各士会担当者へお問い合わせ下さい。また、専門理学療法士ならびに認定理学療法士資格取得のための履修ポイントとして受講証明書を発行致します。

## 作業療法士の皆さんへ

本症例検討会は東京都作業療法士会が共催しています。ついては、当日参加された日本作業療法士協会会員の方には、当日受付にて「生涯教育制度参加証明書」(聴講のみ2ポイント、発表者は別に2ポイント)をお渡しします。なお、東京都作業療法士会主催の研修会へ参加時に、生涯教育手帳と今回の参加証明書を持参して下さい。手帳への捺印を行います。

# 一 般 演 題 発 表 プ ロ グ ラ ム

## Section 1 南 301 教室

座長 医療法人社団 康心会 ふれあい町田ホスピタル リハビリテーション科

作業療法士 小林 幸治

1. 障害受容に対するチームアプローチ～復職に向けて～

医療法人社団 KNI 北原国際病院 リハビリテーション科 就労支援室  
理学療法士 喜屋武 寛昌

2. 多発性脳梗塞により歩行困難となった症例 ～下部体幹機能に着目して～

医療法人社団 幸隆会 多摩丘陵病院 理学療法科  
理学療法士 滝沢 光太郎

3. 後頭葉出血により左片麻痺・左半側空間無視・左同名半盲を呈した症例～歩行能力に対する高次脳機能障害の影響、在宅復帰を目指して～

医療法人財団 利定会 大久野病院 リハビリテーション科  
理学療法士 高橋 碧

4. リハビリテーション拒否が強い症例に対するマッサージによる介入

医療法人財団 暁 あきる台病院 リハビリテーション部  
作業療法士 堀田 可菜子

5. 体幹の前後屈を伴うリーチ動作を利用し長期臥床によって後方に偏位した垂直位への認識が改善した症例

医療法人財団 暁 あきる台病院 リハビリテーション部  
作業療法士 吉澤 恵理香

## Section 2 南 301 教室

座長 医療法人財団 利定会 大久野病院 リハビリテーション科

理学療法士 工藤 弘之

6. Stanford A 型急性大動脈解離で基部形成＋上行部分弓部置換術を施行するも、長時間の体外循環の影響により横紋筋融解症を呈した一症例

医療法人財団 荻窪病院 リハビリテーション室  
理学療法士 飯泉 亮

7. 人工呼吸器離脱後の ADL 再獲得を見据えた介入の検討～急性心筋梗塞から呼吸不全を併発、廃用症候群をきたした症例～

医療法人社団 苑田会 苑田第一病院 リハビリテーション科  
理学療法士 小川 真由

8. 小脳梗塞による筋緊張低下と運動失調により歩行困難となった症例の治療経験

医療法人社団幸隆会 多摩丘陵病院 理学療法科  
理学療法士 三品 礼子

9. 療養病棟において上肢の痙縮に対し手関節固定装具を導入した症例～病棟スタッフと家族との関わりに着目して～

医療法人社団永生会 永生病院 リハビリテーション部  
理学療法士 柳川 竜一

10. 重度感覚障害を呈し、座位および立位姿勢の正中位保持困難となった症例に対するアプローチ～  
麻痺側の感覚の代償とフィードバックの重要性～

医療法人社団 KNI 北原国際病院 リハビリテーション科  
理学療法士 北島 藍

## Section 1 南 302 教室

座長 医療法人社団 KNI 北原国際病院 リハビリテーション科

理学療法士 兵頭 久

11. 当院回復期病棟における脳卒中片麻痺患者に対する長下肢装具の処方と治療効果

社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院  
理学療法士 鈴木 寛心

12. 重度脳血管障害例の治療経験 ～介助方法の統一によりトイレでの排泄を目指して～

医療法人社団幸隆会 多摩丘陵病院 理学療法科  
理学療法士 平松 隼

13. 脳梗塞により抗重力位での筋収縮機能が低下し歩行障害を呈した症例

医療法人社団慶泉会 町田慶泉病院 リハビリテーション部  
理学療法士 坂本 明紀

14. 「無い」から「有る」へ～片麻痺患者の訓練に高次脳機能障害を考慮することの重要性～

医療法人社団永生会 永生クリニック リハビリテーション科  
理学療法士 明神 茉倫子

15. 身体重心に着目し歩行獲得を目指して

医療法人社団幸隆会 多摩丘陵病院 理学療法科  
理学療法士 川村 准子

## Section 2 南 302 教室

座長 東京医科大学八王子医療センター リハビリテーション部

理学療法士 齋藤 隆哉

16. Knee in による歩行能力低下・大腿筋膜張筋の疼痛に対するアプローチ

医療法人社団慶泉会 町田慶泉病院 リハビリテーション部  
理学療法士 田畑 隼人

17. 長期にイリザロフ式創外固定器を用いた変形性足関節症の一症例

医療法人社団恵仁会 府中恵仁会病院 リハビリテーション部  
理学療法士 風間 剛

18. 人工股関節全置換術後に転倒し大腿骨骨幹部骨折を呈した一症例

医療法人財団 荻窪病院 リハビリテーション室  
理学療法士 原 陽子

19. 大腿骨頸部骨折後、鼠径部痛を呈した症例

医療法人社団 徳成会 八王子山王病院 リハビリテーション科  
理学療法士 近 裕介

20. 鎖骨骨折に対し観血的整復固定法施行し抜釘後に再骨折を呈した症例

医療法人財団 荻窪病院 リハビリテーション室  
理学療法士 中野 雄一朗

## Section 1 南 303 教室

座長 多摩リハビリテーション学院 理学療法学科

理学療法士 岩戸 徹

21. 小脳失調を呈する患者に対する歩行への介入～怖くないと思える歩行を目指して～

医療法人社団幸隆会 多摩丘陵病院 理学療法科

理学療法士 和田 玲奈

22. 胸椎硬膜外膿瘍の1例を担当して

医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院

理学療法士 武村 綾乃

23. パーキンソン病を呈した症例～歩行能力向上を目標に～

医療法人財団 暁 あきる台病院 リハビリテーション部

理学療法士 小野 雅也

24. 介護予防通所リハビリテーションにおける栄養評価の取り組み

医療法人社団玉栄会 東京天使病院 リハビリテーション科

理学療法士 吉野 結生

25. 通所リハビリテーションセンター利用による活動性の変化

(社)城西病院通所リハビリセンター

理学療法士 荒木 英之

## Section 2 南 303 教室

座長 医療法人 幸隆会 多摩丘陵病院 理学療法科

理学療法士 永見 直明

26. 右変形性膝関節症の保存療法の一症例

医療法人社団永生会 永生クリニック リハビリテーション科

理学療法士 宮武 智子

27. バドミントン選手の右短橈側手根伸筋腱断裂の一例

医療法人社団永生会 永生クリニック リハビリテーション科

理学療法士 三宅 英司

28. 右尺骨遠位部の脱臼骨折後の偽関節による疼痛を有する食事動作へのアプローチ

医療法人財団 暁 あきる台病院 リハビリテーション部

作業療法士 川俣 晴佳

29. 脳梗塞発症後に急性期よりリハビリテーションを開始し、ADLが向上した一例

医療法人社団 苑田会 苑田第一病院 リハビリテーション科

理学療法士 小野寺 夏希

30. 橋出血患者の在宅復帰を目指して～家屋調査を通して家族の介護協力を得た経験から～

医療法人社団慶泉会 町田慶泉病院 リハビリテーション部

理学療法士 稲田 裕美

## Section 1 南 304 教室

座長 医療法人社団 永生会 永生クリニック リハビリテーション科

理学療法士 三宅 英司

31. 脳梗塞により左片麻痺を呈し、歩行能力の向上に着目した症例

医療法人社団慶泉会 町田慶泉病院 リハビリテーション部

理学療法士 鎌田 優輝

32. 視床出血を発症し中等度片麻痺を呈した症例に対する治療経験

～ 麻痺側への重心移動の拡大 ～

医療法人社団 幸隆会 多摩丘陵病院 理学療法科

理学療法士 長岡 祐次

33. 脳梗塞左片麻痺を呈し、麻痺側の認識が低く非麻痺側に依存した症例

医療法人財団 利定会 大久野病院 リハビリテーション科

理学療法士 長嶺 大吾

34. 医療機関における脳血管疾患患者の就労支援

医療法人社団 KNI 北原国際病院 リハビリテーション科 就労支援室

作業療法士 飯沼 舞

## Section 2 南 304 教室

座長 永生会 在宅総合ケアセンター 訪問リハビリ

理学療法士 荒尾 雅文

35. 訪問リハビリにおける重度の左片麻痺と左半側空間無視を呈した一症例の理学療法

目白整形外科内科

理学療法士 植木 政雄

36. 訪問時に救急搬送を必要とした呼吸困難の一例

医療法人社団 美永会 美住クリニック 美住訪問リハビリテーションセンター

理学療法士 岡本 裕嗣

37. 在宅で生活を続けたい難病利用者の訪問リハビリ

～4年半の経過～

緑が丘訪問看護ステーション

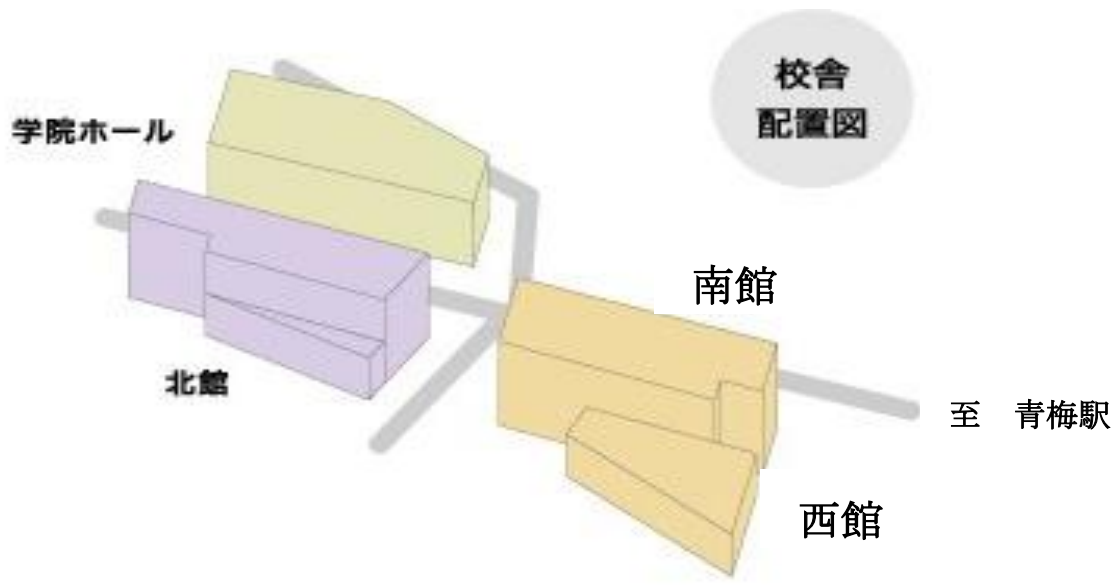
理学療法士 富森 賢

38. 在宅にて経験した進行性核上性麻痺の一症例を通じて

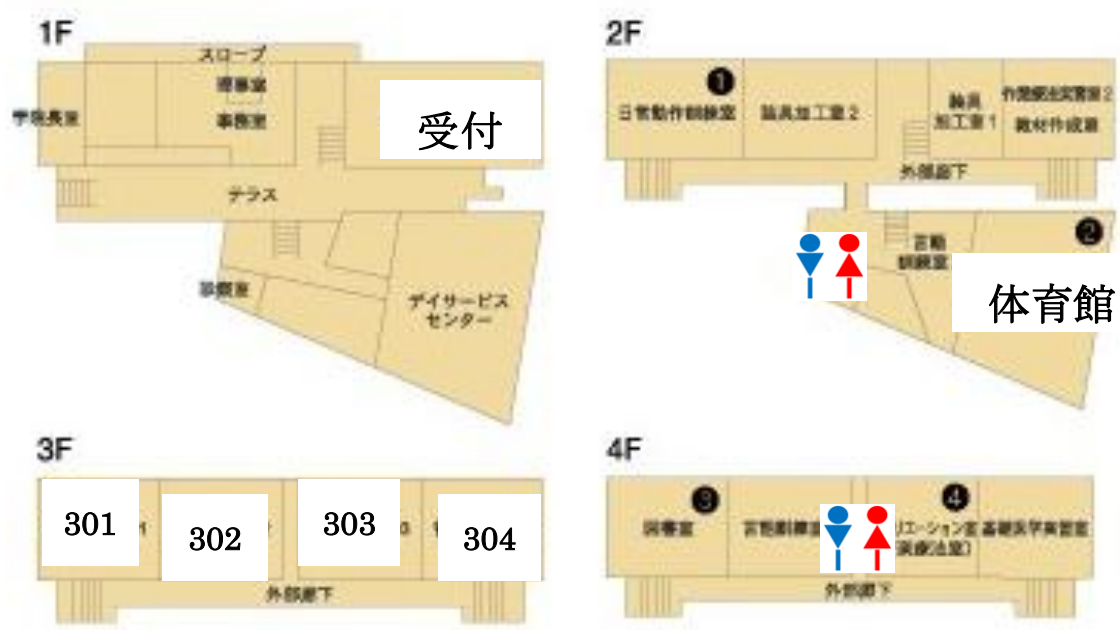
トータルライフケア蒲田 訪問看護ステーション

理学療法士 岩隈 彩

# 会場見取り図



## 南館・西館



デイスサービスセンターへは、出入りしないでください。